株主通信

2019年12月期

2019.1.1 ▶ 2019.9.30

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177

株主の皆様へ

さらなる業績向上を目指し、収益改善とシェア拡大を追求

代表執行役社長
グループCEO
鬼頭　弘泰

当第３四半期連結累計期間は、年初の外国為替相場の急落を受けて大幅な減収減益となった第１四半期（１－３月）の影響により、前年同期比で減収減益の着地となりました。一方、第２四半期（４－６月）以降の業績は堅調に推移しており、第３四半期（７－９月）の営業収益は四半期ベースで過去最高を記録、営業利益も前四半期比で13.9%の増益を遂げました。

証券・ＦＸ事業は、店頭ＦＸの収益率が第２四半期から継続して高水準で推移し、2019年８月のボラティリティ復調時に過去最高水準の収益を計上しました。「収益性改善プロジェクト」は、個人向けＦＸ取引、法人向けＦＸ取引（BtoB）双方の領域における施策が順調に進捗しています。本プロジェクトを着実に遂行し、さらなる収益率の改善と事業基盤の強化に努めてまいります。

仮想通貨事業は、ビットコインを中心に仮想通貨のボラティリティが低下したことに加え、仮想通貨交換業協会が定める自主規制規則およびガイドラインに基づき、証拠金取引のレバレッジ倍率を2019年７月末から引き下げたことも影響して取引高が減少、前四半期比で減収減益となりました。厳しい環境下ではありますが、取り扱い仮想通貨の追加や競合優位なスプレッドの提示に取り組み、取引高増加の要となるAPI取引の拡充に注力することで、顧客満足度の向上と国内シェア拡大を図っていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き、当社事業への長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ダイジェスト　(2019年１月１日～2019年９月30日)

▼第３四半期決算のポイント

店頭FXの収益率改善により
四半期ベースの営業収益が過去最高に

当第３四半期連結累計期間

営業収益	営業利益
24,919 百万円	7,629 百万円
(前年同期比△**5.0**%)	(前年同期比△**17.7**%)
経常利益	**親会社株主に帰属する四半期純利益**
7,418 百万円	4,628 百万円
(前年同期比△**21.3**%)	(前年同期比△**25.5**%)

業績レビュー

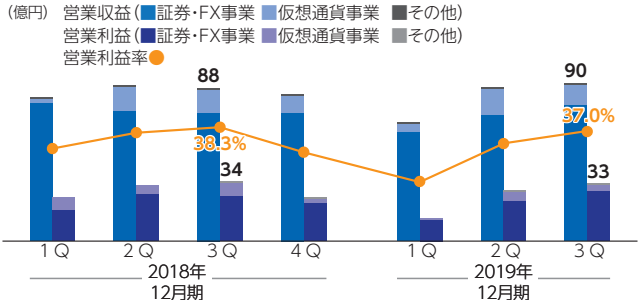
当第３四半期(７－９月)は、店頭ＦＸやＣＦＤが好調に推移したほか、貸株収益の増加により金融収益が改善したことを受けて、過去最高の営業収益を達成しました。

証券・ＦＸ事業は、ＦＸのボラティリティが復調したことに加え、これまでの店頭ＦＸの収益率改善に向けた取り組みが着実に成果となって表れたことから、営業収益78.0億円、営業利益29.6億円と前四半期比で増収増益となりました。

仮想通貨事業は、2019年５月をピークに取引高は減少しているものの顧客基盤の拡大により、営業収益11.0億円、営業利益3.4億円となりました。

以上から、当第3四半期連結累計期間(１－９月)は、営業収益249.1億円(前年同期比△5.0%)、営業利益76.2億円(同△17.7%)での着地となりました。

■四半期業績推移



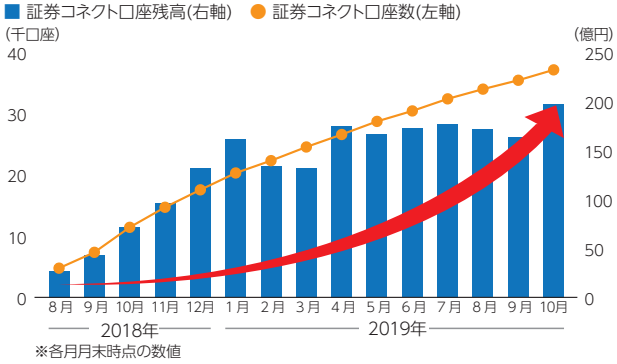
トピックス

銀行・証券の口座連携サービス「証券コネクト口座」が順調に拡大中!

2018年8月より提供を開始した、GMOクリック証券とGMOあおぞらネット銀行の口座連携サービス「証券コネクト口座」の口座開設数ならびに残高が順調に増加しています。

証券コネクト口座は、GMOクリック証券の証券取引口座と連携したGMOあおぞらネット銀行の普通預金口座です。証券コネクト口座をご利用いただくと、GMOクリック証券の現物株式、投資信託、外国債券の買い付け代金を直接、GMOあおぞらネット銀行の銀行口座から自動振替するため、面倒な振替のお手続きが不要となります。証券取引の利便性向上が期待されるほか、証券コネクト口座にあるご資金には、お得な優遇金利が適用されます。

銀行・証券の口座連携サービスを基軸に、さらなる顧客層の裾野拡大を目指します。



※各月月末時点の数値

FXプライムbyGMOがASP※サービスを提供

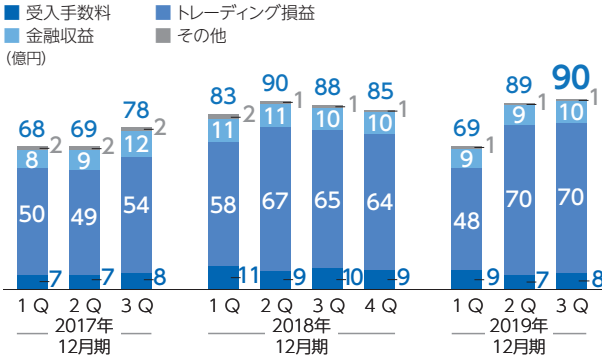
GMOあおぞらネット銀行において、2019年10月24日より店頭外国為替証拠金取引「GMOあおぞらFX」の取り扱いがスタートしました。GMOあおぞらFXは、当社子会社であるFXプライムbyGMOがASPサービスを提供し、GMOあおぞらネット銀行がシステム構築することで誕生しました。

GMOあおぞらネット銀行をはじめ、GMOインターネットグループのシナジーを最大限に活用し、商品・サービスの拡充に努めてまいります。

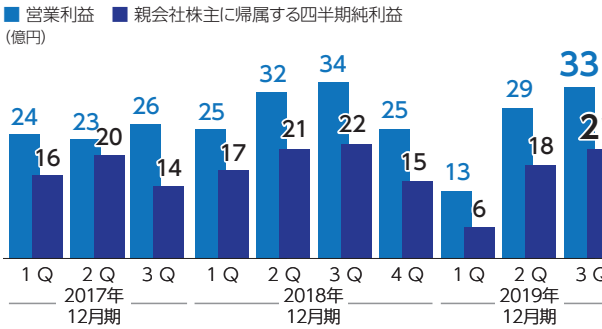
※ Application Service Provider

四半期業績の推移

営業収益



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益



株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、**親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、四半期ごとに配当することを目標**としています。

2019年12月期第３四半期末配当につきましては、上記方針に基づき１株当たり9.02円といたしました。

(単位:円)	１Q	２Q	３Q	期末	年間
2018年12月期	7.46	8.98	9.54	6.27	32.25
2019年12月期	2.59	8.03	**9.02**	—	—

ホームページのご案内

https://www.gmofh.com/

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

（2019年９月30日現在）

会社概要

商　　号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (GMO Financial Holdings, Inc.)
本店所在地	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1　渋谷インフォスタワー ※2019年12月16日に下記住所へ移転いたします。 〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-2-3　渋谷フクラス
代 表 者	代表執行役社長 グループCEO　鬼頭　弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに附帯する業務
設　　立	2012年１月４日
資 本 金	685百万円
従業員数	366名（連結）

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード		
証券コード	7177	上　場　日	2015年４月１日
事業年度	１月１日～12月31日	定時株主総会	毎年３月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	３月31日、６月30日、９月30日、12月31日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町１-１ 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711（通話料無料） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00		
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。		
公告の方法	電子公告　公告URL：https://www.gmofh.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		